

Case Report

キャストサポートグッズを取り入れている

医療法人誠真会 薬師寺整形外科クリニック 院長の薬師寺 誠一郎先生に聞きました。

機能的な上肢固定帯(腕つり)の必要性について

医療法人誠真会 薬師寺整形外科クリニック

院長 薬師寺 誠一郎 先生



■ 快適なギプス生活のために

ギプスは、病院の外來で巻いて終わるものではありません。ギプス固定期間中は大変生活しにくい期間であります。

状態を理解した専門医として、少しでも快適に生活できるような提案を行い、快適なギプス生活を支援していきたいと考えています。

■ 機能的な上肢固定帯の導入背景

三角巾による上肢の固定は、ギプス固定をした方が自身で装着することが難しかったり、三角巾の汚れが目立ちやすかったりと、多くの困りごとがあり不満を感じていました。

そんな時に、ある雑誌で、欧米でギプス固定をした方の多くが機能的な上肢固定帯をしているのを知ったのがきっかけです。機能的な上肢固定帯は見た目に清潔感があり、簡単に着脱でき、かつ快適に過ごせる印象であったことからすぐに導入を検討しました。

■ 導入して良かったこと

- ギプス固定をした方が自身で簡単に着脱することができる。
- 必要な上肢の肢位が保ちやすく、腕の重みによる肩への食い込みを最小限に抑えることができる。
- 一人暮らしの方で三角巾の着脱が困難な方や、日頃から外出が多い学生さん・会社員の方からは喜んでもらえる。

■ 最適な使用部位

上肢にギプス固定をした方が対象です。

特に

- 固定肢位を一定に保ちたい時。
- 一人暮らしで三角巾の着脱に不安がある方。
- 日常的に外出が多く、汚れが気になる学生や会社員の方。
- 外出時にギプスの見た目が気になる方。



アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
www.alcare.co.jp

お問い合わせ：コールセンター

フリーダイヤル **0120-770-863**

土・日・祝日を除く
午前9:00～午後5:00